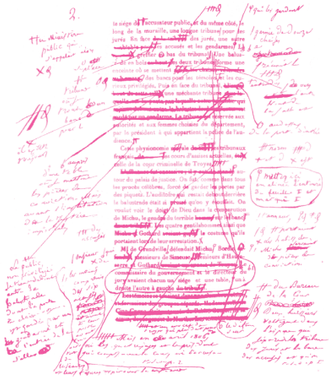
言葉の建築家バルザックが築き上げた《人間喜劇》という
巨大なモニュメントの全貌が、余すところなく日本語で明かされる。
読者は華麗な壁画や重厚な列柱の数々に目を奪われ、圧倒されるだろう。
まさに壮挙である。

石井洋二郎
（フランス文学者）



バルザックの登場人物は何百人もいる。
男と女、若者と中年と老人、みんな生きる意欲にあふれ、
野心と企みに満ち、恋と欲望に突き動かされる。
読み始めると止まらないのだから、
こうして全作が並ぶのはありがたいことだ。

池澤夏樹
（作家）

これまで未紹介だった序文や未完作品を含めて、
世界文学の金字塔たる《人間喜劇》が新たな相貌を示す。
バルザックがいなければ、その後の文学は
まったく違う姿になっていただろう。
全訳の壮図に喝采したい。

小倉孝誠
（フランス文学者）

【本シリーズの特色】

・バルザック自身の構想に沿い、あまりにも膨大な《人間喜劇》の全体像を邦訳によって明らかにしようとする初めての試み。《人間喜劇》全体のプランを踏まえた作品配列を採用、未完作品や自筆の序文をも収録し、作家の創作の過程と文学的野心を立体的に浮かび上がらせます。

・各作品に詳細な解題を付し、未完作品の構想や意図も丁寧に解説。作家の創造の核心に迫り、作品の背景を深く掘り下げます。

・バルザック研究の第一線で活躍する専門家の方々による、最新の研究をふまえた翻訳です。

・末長く愛読するに相応しい、堅牢な造本と美麗な装幀です。

・A5判上製／9ポ一段組　各巻400～900頁程度

・予価8000～15000円（+税）程度

［第一回配本］2025年11月（第1巻）

バルザック　人間喜劇　第1巻

〈風俗研究〉「私生活情景＊」

総序／子供たち／女子寄宿学校／学校の内側／鞭打つ猫の店／ソーの舞踏会／二人の若妻の手記／財布／モデスト・ミニョン

以下毎月1冊ずつ刊行。
2027年6月頃完結予定。

【申込書】 本状を最寄りの書店にお持ちの上、ご注文ください。　【アマゾンでは販売しておりません】

水声社
〒一一二-〇〇〇二　東京都文京区小石川二-七-五
電話 〇三-三八一八-六〇四〇　ファックス 〇三-三八一八-二四三七

❖人間喜劇の第　　巻を　　冊　申し込みます

❖全巻セットを　　セット　申し込みます。

お名前

ご住所

電話番号

書店［番線］印（書店記入欄）

責任編集
私市保彦
柏木隆雄

編集委員
村田京子
松村博史
鎌田隆行

訳＝
鎌田隆行
澤田肇
私市保彦
芳川泰久
岩村和泉
柏木隆雄
多田寿康
大竹仁子
佐野栄一
泉利明
加藤尚宏
宇多直久
大下祥枝
片桐祐
博多かおる
八木優
松村博史
山崎恭宏
藤林道夫
谷本道昭
村田京子
加倉井仁
佐久間隆
東辰之介
林千宏
大須賀沙織

BALZAC

バルザック 人間喜劇 全20巻 全訳

2025年11月
刊行開始！

水声社

バルザックの小説は
読み返すたびに弾力を増し、
意思を持って他の作品とぶつかりあう。
《人間喜劇》は
いまだ拡張をやめない小宇宙だ。
日本語によるその新たな生成に
立ち会えるのは、これ以上ない幸せである。

堀江敏幸
（フランス文学者）

もしAIがバルザックを完全学習したら、
世界最強の知能になることはまちがいない。
そのためにも《人間喜劇》の
完璧な翻訳全集が必要なのである。

鹿島茂
（フランス文学者）

人間の愚行と零落を、バルザック以上に
執拗に描き抜いた作家がいただろうか。
俗悪なる喜劇とは
神聖なる喜劇と同義である。
ここに近代メロドラマ的想像力の、
母なる型が横たわっている。

四方田犬彦
（映画史・比較文化研究）